



令和4年2月14日

各位

会社名 株式会社アプリックス  
代表者名 代表取締役社長 根本 忍  
(コード：3727、東証マザーズ)  
問合せ先 常務取締役 倉林 聡子  
(TEL. 050-3786-1715)

## 連結業績及び個別業績の前期実績との差異に関するお知らせ

令和3年12月期（令和3年1月1日～令和3年12月31日）の連結業績及び個別業績につきまして、前期（令和2年1月1日～令和2年12月31日）の実績と比較して差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 連結業績の前期実績との差異

##### (1) 令和3年12月期連結業績と前期実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	一株当たり 当期純利益
前期実績 (A) (令和2年12月期)	百万円 3,384	百万円 54	百万円 39	百万円 84	円 銭 3.81
当期実績 (B) (令和3年12月期)	3,504	△102	△104	△106	△4.83
増減額 (B-A)	119	△156	△143	△190	—
増減率 (%)	3.5	—	—	—	—

##### (2) 差異の理由（連結業績）

売上高につきましては、MVNO 事業における携帯電話、SIM カードやモバイル WiFi ルーターの月額利用料金等ストック収益が順調に積み上がったこと等を主な要因として、前期実績より 3.5%の増加という結果になりました。

営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益については、受託開発案件において顧客の予算削減や IoT 投資の見送りなどにより開発案件の規模縮小や案件数の減少が発生したこと、また当期より販売を開始した通信機能付ドライブレコーダー「AORINO」の販売不振を主な要因として、前期実績との比較において減益という結果となりました。

#### 2. 個別業績の前期実績との差異

##### (1) 令和3年12月期個別業績と前期実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株当たり 当期純利益
前期実績 (A) (令和2年12月期)	百万円 784	百万円 △62	百万円 △66	百万円 △43	円 銭 △1.97
当期実績 (B) (令和3年12月期)	612	△103	△100	△70	△3.20
増減額 (B-A)	△172	△41	△33	△27	—
増減率 (%)	△22.0	—	—	—	—

ご注意：本リリースは、当社の事業内容等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社株式の投資勧誘を目的とするものではありません。  
本資料の内容には、将来の業績に関する予測等の情報を掲載することがありますが、これらの情報は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されております。  
よって、その実現を約束するものではなく、また今後予告なしに変更されることがあります。

(2) 差異の理由（個別業績）

売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益につきましては、いずれも上記のとおり受託開発案件において顧客の予算削減やIoT投資の見送り等により、開発案件の規模縮小や案件数の減少が発生したこと等を主な理由として、売上高については前期実績より22.0%の減少、また各利益についても減益という結果になりました。

以上